

No. C01	ヤマチャン	年月日	令和5年11月23日(木)
---------	-------	-----	---------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

同期に追い付きたくて自己研鑽に努め、初めてのメイン担当で気合いを入れ取り組んでいるが、所属会社や客先から求められていることと合致せず、逆に自分の自信の無さを見透かされてしまい不安になった。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

良) 言語的追跡を意識し応答したことで相談者の発話量が増え信頼関係の構築に繋がったと考える。

悪) Aさんにとって同期のBさんに追いつく事がどんな意味を持つのかお伺い出来なかった。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 次の3点を問題と考える。(1) 所属会社および客先から求められていることの仕事理解不足。(2) 自信を持つことに対する自己理解不足。(3) 所属会社および客先とのコミュニケーション不足。

②その根拠 次の発言を根拠と考える。(1)「上司にアピールしてきた」「一生懸命に説明したが受け入れてもらえなかった」(2)「周りに認めてもらおうとする思いが強いほど、自信がなくなるような気もしてきた」(3)「気合いを入れて取り組んだ」「自分の自信のなさを見透かされているような気分になった」

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

引き続き、不安という感情に寄り添いながら、初めて任されたメイン担当で気合いを入れて取り組んでいる現状を労い、丁寧に傾聴することで信頼関係の構築に努める。それによって、設問3であげた(1)の解消として、現状の仕事に求められていること及びやっけてどう思うか質問し、仕事理解を確認し振り返る機会を設ける。(2)の解消は、「自信のない自分を隠そうとしていたのかな…」の発言に焦点を当て、自己理解を深めるお手伝いをする。(3)の解消は、上司および客先とのコミュニケーションを取るよう促す。以上のことから、相談者が前向きな働き方を主体的に選択、実行できるよう支援していく方針とする。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙